

千葉国際芸術祭 2025 トークセッション 「はじめての“ちばげい” どうでしたか」を開催します！

千葉市では、千葉開府900年記念のシンボル事業である「千葉国際芸術祭2025」展示期間のフィナーレとして、芸術祭に関わってきた多様な立場の方々や市民が参加するトークセッションを開催しますので、お知らせします。

1 概要

アーティスト、専門委員、制作スタッフ、市長をはじめ、芸術祭の創造に関わってきた多様な立場の方々が集まり、準備期間を含む約3年間の出来事を振り返りながら、本市におけるアートが果たす役割や、これからの可能性について語り合います。

作品やプロジェクトの背景を共有するだけでなく、来場者や市民の皆さまからの率直な声を受けとめ、芸術祭を“つくる側”と“参加する側”が同じテーブルで対話する場として開催します。

2 日時

令和7年11月24日（月・休）
13:00～14:30

3 会場

市役所1階 市民ヴォイド

4 出席者（予定）

中村 政人 氏（千葉国際芸術祭 2025 総合ディレクター）
 箭内 道彦 氏（アーティスト）※映像出演
 高嶺 格 氏（アーティスト）
 伊東 敏光 氏（アーティスト）
 沼田 侑香 氏（アーティスト）
 水口 理琉 氏（アーティスト）
 皆川 真規 氏（千葉県こども病院 病院長）
 有山 由美 氏（山崎商事 代表）
 山梨 絵美子 氏（千葉市美術館 館長）
 千葉市長 神谷 俊一（千葉国際芸術祭実行委員会委員長）
 公募による参加者（定員50人）



イベントバナー

5 参加方法

参加費無料で、どなたでも参加できます。参加を希望される方は、千葉国際芸術祭 2025 ウェブサイトから11月23日（日・祝）までにお申し込みください。（先着50人）

【URL】<https://artstriennale.city.chiba.jp/visit/2025-00-20251114/>



＜参考＞千葉国際芸術祭 2025 概要

「千葉国際芸術祭 2025」は、地域の可能性をひらく市民参加型アートプロジェクトの祭典です。まちなかの思わぬ場所がひらかれ、手をあげた人から活動が始まり、アーティストも生活者も来訪者も、みんなでつくる参加型の芸術祭です。

総合ディレクターに中村政人氏を迎え、「ちから、ひらく。」をコンセプトに国内外32組のアーティストによる市民参加型アートプロジェクトを実施します。本芸術祭が地域における持続的な文化創造の礎となり、千葉開府900年事業の旗艦事業として、千葉市の「人づくり」「まちづくり」「未来づくり」に寄与し、「個性豊かな新しい千葉文化の創造」の起点となることを目指します。

○会期

- ①まちなかりサーチ・制作期間 4月～9月中旬
- ②集中展示・発表期間 9月19日（金）～11月24日（月・休）
- ③振り返り期間 12月

○ウェブサイト

【URL】 <https://artstriennale.city.chiba.jp/>



千葉国際芸術祭 2025

Chiba City Arts Triennale 2025

ちから、ひらく。

千葉国際芸術祭 2025 ロゴマーク

